

Press Release

2015 年 5 月 12 日

報道関係 各位

京都造形芸術大学 通信教育部の公式サイトへ、 Web フォントサービス「FONTPLUS」導入

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（代表取締役社長 CEO：阿多 親市、本社：東京都新宿区、以下 SBT）は、京都造形芸術大学（学長：尾池 和夫、本部所在地：京都市左京区）の公式サイト（<http://www.kyoto-art.ac.jp/t/>）に、Web フォントサービス「FONTPLUS（フォントプラス）」が導入されたことをお知らせします。

■ 京都造形芸術大学 通信教育部のサイト画面



■ 導入の背景

京都造形芸術大学は、芸術系大学として初めて4年制通信教育部を設置し、日本初の通信による4年制芸術大学の実績・経験を活かした学びを展開している大学です。現在、北海道から沖縄まで、毎年1,600名を超える社会人が入学し、現在、6,000名以上の学生が学んでいます。

今回「FONTPLUS」が採用された通信教育部の公式サイトは、PCやタブレット、スマートフォンなど、マルチデバイス化への対策として、レスポンスWebデザインで構築されています。サイト制作工数削減とメンテナンス性の向上の両面から、Webフォントの導入を検討していました。

Webフォントの導入は以前にも検討していましたが、表示までのレスポンスのタイムラグがネックとなり、断念していました。

今回、懸念点を考慮して改めて検討したところ、タイムラグが少なく、より実用的になったと判断し、「FONTPLUS」の採用を決定しました。

使用フォントは、サイズが小さくても視認性が高く、逆に大きくてもラインが美しく品があるといったポイントから「筑紫ゴシック、筑紫明朝」を選定しています。

『報道関係者様からのお問い合わせ』

管理本部 経営企画部

TEL: 03-6892-3063 Email:sbt-pr@tech.softbank.co.jp

『お客様からのお問い合わせ』

お客様窓口

TEL: 03-6892-3154 Email:sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp

■ 導入の効果

現在同学では、Web フォントの適応範囲を中見出し、小見出しなどの部分に絞り、表示速度と見やすさのバランスを検討しながら適用しています。「FONTPLUS」の特長である文字詰め機能を活用し、通常の見出しと、タイトルなどフォントサイズの大きい箇所の2種類に分けて、文字詰め調整を行うなど、ユーザビリティに配慮した運用を行っています。

「FONTPLUS」の導入により、同学が開催する説明会や出願などの情報更新作業を、デザイン表現を落とすことなくスピーディーに対応できるようになりました。

また、サイト利用者の目線に立って、最適なWeb フォントの適用範囲や視認性を検討することで、サイトのユーザビリティ向上にもつながっています。

同学は、情報更新の容易さ、表現の豊かさの両面から、Web フォントの需要が今後も増加することを見据えて、引き続き、Web を効果的に活用するために FONTPLUS の利用を継続していく予定です。

▼ サービス導入に関する詳しい情報は以下のWEB サイトをご参照下さい。

<http://webfont.fontplus.jp/contents/exampleview/w40EnUJUZNI%3D>

▼ FONTPLUS に関する詳しい情報は以下のWEB サイトをご参照ください。

<http://webfont.fontplus.jp/>

SBT は、今後も FONTPLUS のサービス向上へ積極的に取り組み、Web 表現のひろがりを推進してまいります。

■ 京都造形芸術大学 概要

所在地 : 京都市左京区北白川瓜生山 2 番地 116 号

代表者 : 学長 尾池 和夫

設立 : 1991 年

URL : <http://www.kyoto-art.ac.jp/>

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。